

温泉地紹介

フランス, AIX-LES BAINS (エクス・レ・バン) の温泉治療 Balneotherapy at AIX-LES BAINS, France

北海道大学大学院教育学研究科健康スポーツ科学講座
大塚吉則

Yoshinori OHTSUKA

Health and Sport Science, Graduate School of Education, Hokkaido University

パリでの国際糖尿病学会への出席を兼ねて、8月末にフランス国鉄を利用しながら温泉地を2箇所回ってきました。その中からAIX-LES BAINS (エクス・レ・バン) の状況を紹介します。エクス・レ・バンというと、サッカー通は真っ先に岡田監督率いる日本代表チームの合宿先を思い浮かべるでしょう。実はここエクス・レ・バンは温泉治療で有名な町なのです。幸いなことに国立温泉治療施設に勤務しているドクターに事前に連絡を取ることができ、案内をしてもらうことになりました。ところが実際に国鉄の駅に現れたのは彼の父親でした。この70代の父親も元ドクターで何と9代にわたって続く医者の家系だそうです。また、一番の誇りは先祖がナポレオンに仕えた將軍の1人だということで、その銅像が美術館の脇に建っていました。美術館自体も彼のファミリーネームのついた美術館でした。



図1 AIX-LES BAINS (エクス・レ・バン) の位置

ここエクス・レ・バンはヨーロッパの王侯貴族たちが訪れたところで、国営の温泉治療施設が18世紀に開設されたそうです。現在では2000年にオープンした新館で温泉治療が行われており、その施設を案内してもらいました。中に入ると大きな明るいホールになっており、2階に上がるとロッカールームがあり、その奥から治療用のプール、上肢・下肢用の蒸気・温水浴ルーム、個室では全身への蒸気・温水浴が行われていました。全身用の機器ではいくつも穴のあいた椅子に座り、前面をカバーで覆うと、まず背中とお尻の部分から蒸気が、次いで蒸気に代わってお湯が噴出。後はスチームと温水シャワーをミックスしながら身体全体を蒸してリラックスさせ、その後にマッサージを施していました。

治療用プールの脇にはバスローブを入れておくロッカーが備えられているのですが、驚くことに内部にヒーターが付いており、運動後に暖かいローブを羽織ることができるようになっていました。

この施設見学の後もう一箇所マルリオーズ温泉治療施設に行ってきました。丁度休み時間に当たっており治療は行われていませんでしたが、珍しい吸入療法の部屋を見ることができました。ベ

この施設見学の後もう一箇所マルリオーズ温泉治療施設に行ってきました。丁度休み時間に当たっており治療は行われていませんでしたが、珍しい吸入療法の部屋を見ることができました。ベ



写真 1 上肢の温泉水による蒸気・温水浴



写真 2 全身の温泉水による蒸気・温水浴



写真 3 硫黄泉の蒸気浴用部屋



写真 4 子供用の吸入部屋

ンチに並んで座り、硫黄泉の蒸気を嗅ぐ(吸入する)治療です。呼吸器、口腔内病変の治療に有効なのですが、禁煙療法にも利用されていました。また、子供用の吸入部屋にはミッキーマウスの絵が飾られていました。このようにフランスでは温泉水を利用した治療が国立の施設で行われており、羨ましい限りでした。

この後、湖の側にある彼らの別荘で昼食をご馳走になったのですが、湖岸の山の木々が緑ではなく茶色に変色しており、この夏(2003年)のヨーロッパの猛暑の爪痕を垣間見た思いでした。